

**防災意識を高めるため  
新村地区で津波ハザードマップを学ぶ**



8月5日、津波ハザードマップについて学ぼうと新村町内会主催による研修会が新村交流館前で行われ、地域住民38人が参加しました。この日の研修会は、役場職員から、津波ハザードマップについての説明を受け、「現状では新村地区周辺には津波の到来が想定されていないが、地震発生時には、高齢者が増えている現状を踏まえ近所同士で協力しながらの避難が必要」との呼びかけに対して、「真剣に耳を傾けていました。」

また、同日に大留自主防災会主催による「防災訓練」として、住宅火災を想定した煙からの避難訓練が大留生活改善センターで行われ、約30人が参加しています。

災害は、いつ自分の身に降りかかるかわかりません。自分だけは大丈夫だと思わずに速やかに避難することが重要です。

**裏付けをもとに農業技術の向上を  
中須田地区で現地研修会行われる**

8月7日、栽培技術の向上と省力化を図ることを目的とした町主催の現地研修会が中須田地区の農地で行われ、農家や関係機関職員約20人が参加しました。

はじめに水稻の栽培技術向上の一環として試験的に慣行より浅く田植えした苗の生育状況について農業改良普及センター職員から解説され、慣行通り植えたものと比較しても順調に生育していることを確認していました。

また、キヌサヤエンドウ栽培にかかるとの土壌診断結果についても報告され、肥料を見直すことでコスト減が可能との指摘があったほか、マルチシートの下に散水管を通した栽培試験やマルチシートの色の違いによる生育状況の比較試験についても報告されました。

6月下旬から7月中旬にかけて天候が不順でしたが、水稻の生育状況は平年並みとのことで、実り多い収穫が期待されます。



**CORAZON頂点に立つ  
3チームがチャンピオンにサッカー大会**



7月14日、16日に函館市フットボールパークなどで開催された「第13回3+8+11サンパイレブンジュニアサッカー大会」においてCORAZON FCが優勝しました。

小学4年生以下で行われたこの大会に町内の児童5名を含む13人で臨んだCORAZON FCは、予選リーグを1位で通過すると、決勝トーナメントも圧倒的な攻撃力で勝ち上がり、決勝戦では、後半途中で一時勝ち越しを許すも、すぐさま同点に追いつき、終了間際に得点をあげ、栄冠に輝きました。

濱塚弘行監督は「逆転されても諦めずにプレーしたことは力がついてきた証し」と選手たちを称えていました。

**30年ぶりに復活  
汐吹地区の灯籠流し**

8月15日、汐吹地区の灯籠流しが汐吹地区の海岸で行われました。この灯籠流しは、もともと照光寺の寺参り行事として祖先の供養のため30年前まで実施されていたそうですが、沖に流された灯籠の海洋汚染などが指摘されたため行われなくなりました。

今回は、対策を講じ汐吹町内会の行事として復活したもので、各家庭より持ち寄られた戒名などが書かれた灯籠約110丁が、2艘の小舟により約70分の沖合に運ばれた上で海面に浮かべられると、岸で見守っていた帰省客や住民約150人は、それぞれが祖先や亡き人への思いを馳せていました。

小間均町内会長は、「波も穏やかで、無事に終了できてよかったです。来年も灯籠の数を増やし、時間を長くして実施したい。」と意欲的に話していました。

